ボーリング柱状図

調　査　名　一般県道乙瀬小方線　新町陸橋耐震補強工事に伴う支障物件移設設計業務委託

ボーリングNo　B R G 0 0 0 3

事業・工事名

シートNo

ボーリング名	Bor No.P2	調査位置	広島県大竹市御園一丁目			北緯	34° 14' 10.8"
発注機関	広島県西部建設事務所廿日支所			調査期間	平成 30年 1月 30日 ～ 30年 1月 31日	東経	132° 13' 7.6"
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	GH=4.48m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	東邦製D-0型	ハンマー落下用具	半自動落下
総掘進長	4.80m								エンジン	ヤンマーNFD12	ポンプ	東邦製BG-3型

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
1									
2									
3	0.98	3.50	3.50		礫混じり砂	淡茶灰	緩い		マサ土由来の盛土で粗砂～細礫を主体とする。 乾燥した状態にある。 GL-2.8mより自然水位上を確認。
4	-0.32	1.30	4.80		礫混じり砂	暗灰	中ぐらい		粗砂～細礫を主体とし、φ10～30mm程度の角～亜角礫を主体としている。 GL-4.0m付近で一部含水多くなる。
5									
6									
7									
8									
9									

孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値
1/30 3.78	1.15	1	1	2	4／30	4
	1.45					
	2.15	4	3	3	10／30	10
	2.45					
	3.15	2	2	3	7／30	7
	3.45					
	4.15	4	11	4	19／30	19
	4.45					

原位置試験 深度(m)	試験名および結果	試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験（　）	掘進月日
4.00	現場透水試験 9.04E-05～5.05E-06					1/30
4.80						